



1



4



3



2

伝えたい
残したい
わがまちの
誇り



川上地区
Kawakami

ふるさととの 情景

VOLUME

7

川上地区
（観心寺の楠公祭）



1 国宝の金堂を背景に入場する僧侶 2 琴や尺八の奉納 3 法要の様子 4 首塚の五輪塔 5 正成が戦死したため建設が初層のみとなった「建掛塔」

※観心寺へは河内長野駅から南海バス「観心寺」下車すぐ。

5月25日は楠木正成が湊川の戦い（現在の兵庫県神戸市）で戦没した日で、正成ゆかりの寺社では、法要が行われます。観心寺は正成の菩提寺であることから、首塚や幼少の頃の学問所とされる中院など正成ゆかりの遺産が多く、同寺でも、命日に近い日曜日（今年5月22日）に楠公祭が盛大に執り行われます。時刻が午前11時に近づく、首塚前に設えられた会場に僧侶が列をなして入場。法要では、読経や大楠公顕彰会会長による誓文奏上、ご詠歌・琴・尺八・詩吟の奉納、参列者による焼香などが行われます。同寺では、明治期以降、楠公の遺産の保存活動や顕彰活動が盛んになり、正成の遺徳がたたえられています。



5

ふるさとの人

下浦昭道さん

楠公祭には60年以上前から関わっていますが、かつては曜日に関係なく命日の5月25日に行われ、沿道には職人がたくさん立てられていました。私が子どもの頃は楠木正成は「楠公さん」と呼んで親しまれ、チャンバラで遊ぶ時も楠木正成を名乗っていたことが懐かしい思い出です。観心寺には国宝の建物や仏像のほかにも、北斗七星を祀る星塚や恩賜講堂など素晴らしい文化財があるので、もっと多くのの人に知っていただきたいです。

